

親鸞聖人750回大遠忌法要に向けて

# 新門様 ご夫妻 日高別院をご巡拝

～218人がおかみそりを受式～



発行 和歌山教区基幹運動推進委員会  
 編集 教区報編集委員会  
 和歌山市鷺森1番地  
 鷺森別院内  
 電話 和歌山(073)422-4677  
 FAX 和歌山(073)428-2450  
 発行人 杉本 正信

10月7日に新門さまご夫妻が御坊市の日高別院をご巡拝になった。このご巡拝は親鸞聖人750回大遠忌のお待ち受け機運の高揚と法要円成を期して行われているもの。当日は、折からの台風18号の接近にともない朝から激しい雨が降っている上に風も徐々に強まり、関係者が心配するなか、ご一行は、予定通りの時刻に山門前に到着。当初は、幼稚園児らが楽器演奏と合唱でご夫婦を歓迎することになっていったが、急遽本堂向拝で、歌の合唱でのお迎えとなった。時節柄インフルエンザの流行なども懸念されたが、58人の園児は一人の欠席者もなく全員でお二人をお迎えすることができた。

帰敬式は申し込みが218人になったため、2回に分けて行われたが、開式の2時間も前から多くの受式者が本堂に着座。門徒としての名のりを受ける意気込みが感じられた。記念布教は、田中教照師の「あなたは今幸せですか？」との問いかけで始まり、「善人の集まりでは争いごとが絶えないが、自分は悪人である」との自覚を持つ人は安穩で幸せな家庭を作りあげることができる」と語った。

### 鷺森テレホン



杉本 正信

(和歌山教区教務所長)  
鷺森別院輪番

「新年、明けましておめでとうございます」

毎年お正月を迎えるたびに、この挨拶について考えさせられます。

いつ死んでも当たり前の私ですが、また新しい年を恵まれたのです。私だけではなく誰も生きたことのない、まっさらな年を恵まれたのですから本当に有り難い、もったいない、おめでたいことでもあります。

では、新年は本当にめでたいなあといえるのでしょうか。新しい年を恵まれたのですからおめでたいことではありません。

すが、山も川も、田畑も人間も、かんじんの私自身も昨日のままではないでしょうか。

運転免許証更新の講習で、人や対向車はこないだろう、譲ってくれるだろう、という「だろーう運転」は事故のもとである。来るかもしれない、事故につながるかもしれないという「かもしれない運転」が

## 「浄土への旅」

大切であると教えていただきました。

私たちはかけがえのない二度と繰り返すことができない人生を歩んでいます。

確かな地図を持ち、行き先と現在地を確認しながら生きていく「明日死ぬかも知れない」という「かもしれない人生を送る」ことが大切であります。しかし、明日死ぬかも知れないと、おどおどばかり

して送る人生はつらいものになってしまいます。それは自分の人生の地図をもっていないからではないでしょうか。人生の地図をもつということ、それは私自身の本来の姿を知り、こころ豊かに生きることができると生きます。生まれてからこのかた、つ

くり続けてきた「地獄」に、私自身が突入している姿、阿弥陀さまはそのような私たちであることを見抜いておられ、必ず救いとお誓いいただいている仏さまです。  
ほんとうに、今年をおめでたい年にするためには、一人ひとりが人生の地図をもって、「地獄への旅」を「浄土への旅」にさせていただくことではないでしょうか。

### 鷺森テレホン 法話

24時間いつでもどこからでも3分  
間法話が聞けます。

073-422-0243  
おにしさん

# 「親鸞聖人750回大遠忌お待ち受け法要」始まる

## 教区で初のお待ち受け法要を厳修

和歌山東組 吉田 隆 英

昨秋の11月1日(日)和歌山東組(17ヶ寺)では、和歌山市西の西教寺(西岡俊雄住職)本堂を会所として、宗祖親鸞聖人750回大遠忌お待ち受け法要を厳修いたしました。

午後2時ちょうどに喚鐘が入り、組内法中が入堂して、参拝者と共に声をそろえて、おごそかに正信念仏偈をおつとめました。



その後行事に入り、まず浄土真宗本願寺派橋正信総長からの挨拶文を組長が代読しました。

さらに杉本正信和歌山教区教務所長の祝辞に続いて、先だつての大谷本廟における親鸞聖人750回大遠忌での公演など、もつか近畿を中心に各地で活躍中の、新進のシンガーソングライター・やなせなな(奈良教区葛上組教恩寺衆徒)さんによるミニコンサートが



「世のなか安穩なれ」と念じ  
ご遠忌に向け心を新たに  
行われました。

行われました。

当日は小雨の降り出すあいにくの天候で、新型インフルエンザの影響のため、出席を見合わせる方もあつて、残念ながら満堂とはなりませんでしたが、冒頭の真宗宗歌からエンディングの恩徳讃まで

あわせて8曲、時には参拝者もこぞつて合唱し、堂内にはやなせさんの明るくのびやかな歌声が響きわたりました。

1時間余りの短いコンサートではありましたが、今生かされている命の重さとうよろこびを痛感しつつ、味

わいぶかく意義ぶかいひとときを過ごさせていただいたことでした。

そして、宗祖親鸞聖人の説かれたみ教えの尊さありがたさにあらためて感謝申しあげると同時に、「世のなか安穩なれ」と念じつつ、明年に迫ったご本山での宗祖聖人750回大遠忌に向けて心を新たに、このよろこびぶかいお念仏の輪をさらにひろめて行かねばならないと誓つたことでした。このたびの教区内で初めてのお待ち受け法要にご協力いただいた皆様、とりわけ西教寺のご門徒の方々に厚く御礼申しあげる次第です。

### 各組お待ち受け法要の日程

- 2月11日(木) 和歌山組
- 4月18日(日) 海南組
- 4月18日(日) 日高組
- 4月18日(日) 紀南組
- 5月1日(土) 加茂組
- 6月5日(土) 有田北組
- 6月12日(土) 和歌山西組
- 6月19日(土) 伊那組
- 7月4日(日) 有賀組
- 9月18日(土) 有田南組
- 10月2日(土) 海草組
- 11月20日(土) 和歌山北組

報恩講期間中キッズサンガの  
意義について研鑽を深める

昨年11月24日から28日に勤修された鷺森別院の報恩講に併せ、各教化団体が研修会を開催した。

今回は各団体とも統一テーマ「キッズサンガの願い」のもと研修を行い、24日の寺婦連盟、25日の仏壯連盟では、教区キッズサンガアドバイザーの稲垣貴史さんと佐々木祐行さんが講師を務め、26日の門徒総代会、27日の仏婦連盟では中央キッズサンガ推進員の松月博宣さんが講師を務めた。

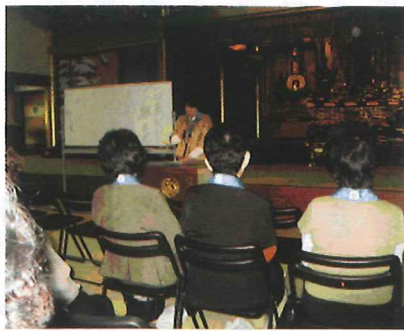
研修では宗門長期振興計画の重点項目として挙げられている次代を担う「人」の育成の一環として進められている「全寺院『子どもをつどい』キッズサンガ」の意義について研鑽を深めた。

講師からは門徒、僧侶、寺族など、全員が協力しあって、お寺が一つの家族として、子どもの居場所となるよう大人が子どもたちにも目を向け、阿弥陀さまの前にも身を置いていこうとする歩みを続けることが大切で、これがそのまま、基幹運動のスローガンである「ともに いのち かがやく

世界へ」を切り開くことにもつながると述べられた。

2009年度仏教婦人会連盟  
問法の集いを開催  
—若婦人研修会—

例年開催している若婦人研修会を昨年は10月26日に、別院本堂において開催。講師は山口教区宗玄寺、仏婦総連盟講師の嘉屋英嗣師。「出遇い—喜びを伝えあおう—」をテーマに127人が参加。仏婦のスローガンである「念仏に生かされる喜びを行動へ」の本意について話され、参加者らは仏婦活動の喜びを確認した。



また、毎年仏婦総連盟で開催している第17回若婦人中央研修会に参加した海草組蓮乗寺会員稲垣昌美さんが体験発表を行った。

大谷本廟大遠忌法要に  
別院婦人会が参拝



本山での大遠忌法要に先立ち、10月12日から16日まで大谷本廟で宗祖親鸞聖人750回大遠忌法要が修行された。鷺森別院婦人会では、法要の初日にあたる

10月12日に31人が団体で参拝。50年に1度のご勝縁に思いを巡らした。

当日、明著堂前の白洲には、テントが張られ、多くの参拝者であふれんばかりだった。

法要は、荘厳な雰囲気の中、昨年制定された「宗祖讚仰作法(第二種)」が初めてつとめられた。

法要後、ご門主がお言葉を述べられ、参拝者らは、この感動をお念仏申す喜びといただき、次世代へとつなげていきたいと胸を躍らせていた。

和歌山組仏婦  
ダーナ活動のお誘い

和歌山組仏教婦人会では、婦人会活動の一環として、ダーナについて考え、活動を実践する会を発足させた。

昨年11月19日鷺森別院を会場に第1回例会が開催された。活動は参加者らで生地を持ち寄り鍋敷きを作り、出来あがった品物を販売し、収益金の全額を寄付するもの。「ダーナ」できることからはじめ



よう」のかけ声のもと、協力してくださる参加者を募集している。お問い合わせは和歌山組仏婦会長島村美穂さんまで。

第13回子ども作品展

第13回和歌山教区少年連盟主催「子ども作品展」が鷺森別院で開催されている。期間は11月24日から1月15日まで。今回は、教区内寺院より185点の作品応募があり、入賞者は左記の通り。

【絵画の部】

◆本願寺鷺森別院賞

奥田 真代さん・幼稚園（加茂組西福寺）

◆輪番賞

森田 光法さん・幼稚園（加茂組正光寺）

◆少年連盟特別賞

上出 朱莉さん・小 3（有田南組善照寺）

【書道の部】

◆本願寺鷺森別院賞

則藤 麻衣さん・小 6（有田北組西方寺）

◆輪番賞

嶋 明日香さん・中 2（和歌山西組正立寺）

◆少年連盟特別賞

西濱みゆきさん・小 3（和歌山組宗善寺）

津村 晃照くん・小 1（加茂組西福寺）

末松 里菜さん・小 2（和歌山組念誓寺）

西口 紗矢さん・幼稚園（和歌山西組正立寺）

【作品の部】

◆本願寺鷺森別院賞

極楽寺子ども合掌会さま（有田南組極楽寺）

◆輪番賞

藤原 綾乃さん・小 3（和歌山北組永正寺）

本派社推協ハザー 街頭募金を実施

本派社社会福祉推進協議会和歌山教区支部では11月27日に毎年恒例のチャリティハザーを開催した。教区内寺院、教化団体役員等に出品等のご協力をいただき、10万5120円の売上があった。このお金は、敬老の日のお祝い等の社会福祉推進事業に役立てる。また、12月1日には歳末助け合い街頭募金を実施した。JR和歌山駅前と南海和歌山市駅前で行われ、総額9万4862円の募金があった。この募金は読売新聞社を通し社会福祉事業（歳末助け合い）に全額寄付。当支部の両活動にご協力いただきました皆さまには深く感謝申しあげる。

\*\*\*\*\* 教区だより \*\*\*\*\*

2010年1月

- 9日 御用始め
- 12日 布教団連続法座
- 15日 スカウト仏教章研修会
- 17日 門徒総代会剪定奉仕
- 21日 寺婦正信偈講座
- 22日 スカウト仏教章研修会
- 29日 第10回和歌山人権啓発研究集会（白浜／～30日）

- 8日 矯正教化近畿支部研修会（奈良／～9日）
- 11日 和歌山組お待ち受け法要
- 16日 仏婦清掃奉仕
- 27日 第3連区門推研修協議会（奈良／～28日）
- 28日 門徒総代会モデル事業（和歌山北組）

2月

- 1日 近畿仏婦推進協議会（大阪）
- 3日 第3連区布教使研修会（和歌山／～4日）
- 7日 如月忌（本山）

3月

- 4日 宗祖750回大遠忌 お待ち受け近畿大会（大阪城ホール）
- 8日 布教団連続法座
- 9日 寺婦正信偈講座
- 10日 門徒総代会念仏奉仕団（本山／～11日）
- 16日 仏婦清掃奉仕
- 28日 孫市まつり

別院だより

鷺森別院

【常例法座】毎月15・16日 午後1時30分

1月 山名一徳師（高岡教区）

2月 藤 正史師（大阪教区）

3月 藤尾真哉師（大阪教区）

4月15日 足利礼子師（四州教区）

16日 田口敏明師（和歌山教区）

【春季彼岸会】 3月20～22日 午後1時30分

小村賢昭師（大阪教区）

【常例法座】20日 午後1時30分

1月 山名一徳師（高岡教区）

4月 足利礼子師（四州教区）

【春季彼岸会 日高郡・御坊市戦傷病没者追悼法要】 3月19日 午後1時30分

桐山六字師（日高別院輪番）

教務所年末年始休暇のお知らせ

12月28日（月）から1月8日（金）までの間通常事務を休止いたします。

① 願記等については、1月9日の受理となります。

② 寺院関係者のご逝去など、緊急を要する件は、教務所までご連絡願います。

### 『愚の力』 ご門主の著書発刊



ご門主の著書『愚の力』が文春新書(文藝春秋社)から発刊となり、昨年の10月20日から全国書店で発売されている。

本書では現代の課題を明かにされ、親鸞聖人や法然聖人が説かれた「凡夫」や「愚者」という考え方を手がかりに、この時代をどう生きてらよいかということをも具体的に記されている。  
体裁は新書判224ページ。819円(税込み)。

### 3月4日大阪城ホール お待ち受け近畿大会

いよいよあと1年に迫ったご本山での親鸞聖人750回大遠忌法要を前に、50年に1度の大遠忌法要への気運を盛りあげようと一大遠忌お待ち受け―法要行事が全国8都市において順次開催されている。この度、近畿でも6教区が一体となり、3月4日に大阪城ホー

### 責任役員・門徒総代 任期満了のしんぶん

責任役員・門徒総代の任期が満了している寺院については、責任役員任命申請、門徒総代届の手続きを取るよう呼びかけている。  
なお、責任役員任命申請冥加金

ルで開催される。

法要スローガン「世のなか安穏なれ」のもと、浄土真宗のみ教えが、今の世においてどのような意味を持ち、はたらきがあるか「今、伝えたい大切なことば」というサブテーマを掲げ、徳永道雄勸学が記念法話を行い、記念アトラクションでは、由紀さおり・安田祥子姉妹によるメモリアルコンサートが催される。

は宗派冥加金1万2000円、教区願記手数料6000円の合計1万8000円となる。また、責任役員が全員再任かつ任期満了後1年以内の申請の場合は、冥加金は不要。責任役員交代及び任期切れ1年以上経過の場合は再任でも冥加金が必要となる。

### 寺婦連盟主催 「正信偈に学ぶ」研修会開催

教区寺族婦人会連盟では、本年度、3回にわたって正信偈を通して、親鸞聖人の御同朋・御同行のみ心について学びを深めようと、研修会を開催している。講師は、中央仏教学院講師の武田達城師。第1回は、11月10日に開催され、27人の方々が講師の講義に熱心に耳を傾けた。第2回は、平成22年1月21日、第3回は、3月9日。多くの寺族婦人の参加を呼びかけている。お申込みは、教務所まで。



### 2月3日・4日別院で 第三連区布教使研修会を開催

2009年度の第3連区布教使研修会が、来る2月3日・4日に鷺森別院で開催される。  
今回の研修会は、和歌山教区の担当で講師は布教団連合総団長補佐の天岸浄圓師で「布教の第一歩へ」と題し、現代の布教のあり方について研鑽する。  
また今回は和歌山教区布教団の研修会を兼ねているので、対象を教区内布教団員に限らず、布教団道に意欲ある寺族・僧侶の方々にも聴講を呼びかけている。

### 得度

- 小島美帆 加茂組 光輪寺
- 山本行延 伊那組 蓮乗寺
- 藤範みつ 伊那組 大光寺
- 菅原 健 有田北組 教蓮寺

### 教師

- 芝山賢祐 伊那組 西照寺

### 逝去

- 中山隆正 海草組 安養寺
- 衆 徒 平成二十二年九月三日

ご生前のご活躍・ご尽力に感謝申しあげ、謹んで敬弔の意を表します。